

# 『瑞浪が海だったころ』

11月15日（水）5時間目に体育館において、全校が一堂に会して、『化石講話』を開催しました。本日の講師は、瑞浪化石博物館の安藤 佑介学芸員さん。体育館にパレオパラドキシアの産状レプリカを持ってきて、展示していただきました。

釜戸町で発見されたパレオパラドキシアの化石について、発掘、クリーニング作業、そして明らかになった、年代、生きていた頃の姿、年齢、そして周りの環境まで、実に多くのことが検証の結果、明らかになったそうです。

特に、瑞浪が海だった時期があることは、海に住む生物の化石が多く発掘されていることから知っていたことだと思います。

しかし、お話の中で、パレオパラドキシアが死んだ後、サメに食べられた証拠としてサメの歯が骨に刺さっているという、他の生物との絡みが化石として残っていることは、実に興味深く感じたことでした。

持参していただいた産状レプリカに触れながら、間近で見ることができたこともいい経験でした。



## 【参加者アンケートより】（抜粋）

☆海にはいろんな生物がいて、私たちが存在する前から海があったから、これからもずっと守っていききたい。パレオパラドキシアはどんな生き物だったのかを知れたし、どこに住んでいたのかも学べたので親やいろんな人に伝えたい。

☆もっと海を守りたいと思ったし、もっともっと化石のことについて知りたいなと思いました。環境問題もある中、瑞浪で暮らしながら何かできることがないか考えてみたいです。

# 『ボランティアのあるべき姿』

11月18日・19日と瑞浪市文化センターにて、瑞浪市中央公民館文化祭が開催されました。

両日ともに北中からボランティア参加している生徒がいましたが、私は19日のボランティアの様子を見に行きました。参加している生徒は3名のはずでしたが、その内の1名が、18日もボランティアを行い、19日の午前中はクラブもあって疲れてしまい、本日は欠席ということを知りましたので、2名の参加でした。

文化センターの入口から入った奥に受付があり、そこでスタンプラリーの紹介とカードを渡していました。その時の2人の対応が実に柔らかく優しく、声を掛けた子たちは全員参加していました。初めての人と接する時、表情・口調・態度によって、相手に与える印象は大きく変わります。

特に小さな子と接する時には、同じ目線にして表情や反応を見ながら話すことも必要となります。

今回の2名に限らず、北中のボランティア参加者は、地域の方々・初めての人と関わる時の対応がとても上手です。

笑顔で、丁寧に、元気に、優しく、柔らかく、明るくといった要素をもって対応できています。

これからも、ボランティアに参加する目的や関わり方について明らかにした上で対応していく姿を楽しみにしています。



# 『環境学習発表会』（3年生）

11月22日（水）6時間目に、今年度から総合的な学習の時間において取組を始めた『環境学習』の発表会を行いました。3年生は『提言』という形でまとめ、発表へと繋げました。せっかくの場であり、機会でもあることから、地域の方にその声を届けるために、学校運営協議会委員の方々、瑞浪市教育委員会のCS担当の先生にお声掛けをし、7名の方々に来ていただきました。A組～D組それぞれ1・2名の委員の方が参観され、最後に感想をいただきました。

私は、A組からD組まで全てのクラスを短時間ながら参観しました。総体的に見て、短期間の取組とは思えないような仕上がりで驚きました。資料の豊富さ、資料からの考察、そして具体的な提言までのつながりの良さ、中学生らしい提言と、素敵な仕上がりになっていました。

更には、聴き手を意識した話し方ができていたところは、3年生らしさが現れていたところだと思いました。

本当に素晴らしい発表会でした。学校運営協議会委員の方々、瑞浪市教育委員会のCS担当の先生、明世小学校も、皆さんの発表に絶賛でした。地域の方々だからこそ伝わるがあったと思います。

3年生の皆さんが、北中学校の総合的な学習の時間の新たなテーマである、『環境学習』の大きな第一歩を踏み出しました。今後、1、2年生も着実な一歩を踏み出していくと思います。期待感いっぱいです。



## 【参観された方からの感想】

☆本日は大変貴重な発表の席に招待していただきありがとうございました。2つ、私にとって学べたことをお伝えします。1つ目、総合を通して地域や地域の環境の視点で考えることの大切さです。今回、総合で地域の課題に目を向け、課題点を深掘し、解決策を探る取組をしたからこそ、地域の課題や地域のもつ素晴らしさを再認識することにつながったのではないのでしょうか。さらに、中学生として自分たちができることは何か、と自分たちの視線で物事を考えていこうとする点も素晴らしいものがあると思います。その内容として多くのグループが「地域を知る」「地域に貢献する（ボランティアや地域行事に参加する）」「地域へ発信する」こうした点が共通していることかと思ひ聞いていました。

まさに、生徒会の活動として取り組んでいること、そのままだと思います。

皆さんも機会があればぜひともこの3つのうちの1つでも取り組むことを期待しています。

（次ページへ）

なかなか、中学生も忙しいと思います。でも、皆さんが真摯に地域の課題や環境の課題を見つめ考え、行動につなげようとしている姿から自分も触発されました。

2つ目、今年度から瑞浪北中学校はコミュニティ・スクールとなりました。これからの世の中、学校の授業の中だけ学習していく知識と技能等だけでは、これからの世の中を生きていくためには少し心もとない時代になってきました。これからは、様々な物事に対して、自分たちで課題を見つけ、その解決策を周りにいる人たちと考え、協働して解決していく力が求められます。この力をつけるためには、まさに中学生の今、皆さんがより多くの人と接して協働していく学びにすることが大切です。地域の方々は、そんな皆さんをととても温かく見守り、時に皆さんに力を貸していただけます。ぜひとも、この学習からのつながりを大切に地域や地域の人たち、仲間と協働して取り組むことのよさを体験し、この先、皆さんが世の中の中心で活躍する頃には瑞浪北中学校区が、今日の皆さんの提言が実現していることを願っています。

温かな雰囲気の中で、皆さんが充実した学習を進めている姿から、自分もさらにできることを考え、取り組まなければと考えさせられました。ありがとうございました。